

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	地球学特論B (Introduction to studies on the Earth B)		
ナンバリングコード	R20218	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M009201	クラス名	-
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、 履修条件	教科書を使用して授業を進めますので必ず指定された教科書を購入してください。		
教科書	地形でとらえる環境と暮らし 西城・藤本・黒木・小岩・楳原 古今書院		
参考文献及び指定図書	応用地質、地盤工学会誌		
関連科目	環境情報学特別研究、環境情報学特別演習		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地球環境の現象、プロセスに対して関心をもち、双方向に授業に関わる。			25点
【知識・理解】	自然災害など地球の自然現象を理解し、そのメカニズムを説明できる。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	文章や図、表を用いて、論理的で、科学的なコミュニケーションができる。			25点
【思考・判断・創造】	地球環境に対し、課題を見つけて、その解決に向け、考えることができる。			25点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

授業は講義形式はなく、履修者がそれぞれ教科書の担当箇所をまとめて、プレゼンテーションを行ってください。発表の資料の完成度、説明方法および聴講側の態度、質問内容によって、履修者の理解度などの上記の到達目標について5段階評価します。

○基本情報							
授業の目的	地球環境問題、人口問題、エネルギー問題は現在、人類が直面している課題です。またこれらの課題はここのものではなく、相互に関係しています。このような問題を解決するためには、地球やそのシステムの知識が基本となります。この授業の目的は、我々の地球やシステムに関する知識を学び、人類が直面している課題に対して考察、議論できる素養を身に付けることにあります。						
授業の概要	この科目では、現代人のリテラシーの地球学として、第一章 低地、第二章 台地、第三章 丘陵、第四章 火山と地震、以上四部構成で行い、それぞれ発表と解説を行います。大学周辺の地形、地質、土地利用についてフィールドワークを通して学びます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「実習、フィールドワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○その他

レポートは課しませんが、担当箇所の発表資料を提出してください。形式は特に問いません。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	地球学特論B (Introduction to studies on the Earth B) 池見 洋明	授業コード	M009201
学修内容				
1. ガイダンス 教科書の説明、授業の進め方、担当決めを行ないます。およそ1章を2～3人で担当して、2～3コマで行なう予定です				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
2. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
3. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
4. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
5. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
6. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
7. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
8. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	地球学特論B (Introduction to studies on the Earth B) 池見 洋明	授業コード	M009201
学修内容				
9. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
10. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
11. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
12. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
13. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
14. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
15. 調査発表、議論 対話形式、ゼミ形式で双方向に授業を実施、教科書の担当箇所について、準備程度、理解度にあわせ、発表を行なう。その発表に対して、アドバイスや指導を行ないます。				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間
16.				
予習 研究調査の報告準備。				約2時間
復習 研究調査報告に基づく研究内容の再検討。				約2時間